

平時に自治体の情報を確認、家族で書いて保管するメモです。

発災中は記入より安全確保と自治体の避難情報を優先。危険な自宅へ戻らない。

記入日： 年 月 日 次に見直す日： 年 月 日

市区町村： 想定する災害：

確認した自治体の部署・ページ名／連絡先：

地震・洪水・津波など、災害の種類で利用できる場所は異なります。

指定緊急避難場所＝命を守るために緊急に逃げる場所。指定避難所＝滞在する施設。

同行避難は同室の保証ではありません。犬の居場所・世話の条件も確認します。

名称・住所：

用途（緊急避難／滞在／その他）：

犬の受入条件・犬の居場所・必要な物：

経路の危険箇所・通れない場合の迂回：

確認先／確認日：

名称・住所：

用途（緊急避難／滞在／その他）：

犬の受入条件・犬の居場所・必要な物：

経路の危険箇所・通れない場合の迂回：

確認先／確認日：

確認済みでも当日の開設・受入・経路の安全は保証されません。最新情報に従います。

犬を連れる人： 用品を持つ人：

家族の連絡方法・集合先／犬だけで留守番中の対応：

一時預け先・連絡先／相手と確認した条件（期間・必要な物・費用など）：

未確認の項目： 確認する人： 期限： /

記入後の紙には個人情報が含まれます。必要な相手だけで共有し、SNS等へ公開しないでください。

Pawlov独自作成（公的な申請書ではありません） 2026-10-04版

参考：環境省「一般飼い主編」20-22頁、内閣府「避難場所に関すること」

使い方・出典：pawlov.jp/articles/disaster-prep/